

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月14日

【四半期会計期間】 第58期第1四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 日本フォームサービス株式会社

【英訳名】 NIHON FORM SERVICE CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 山下 岳 英

【本店の所在の場所】 東京都江東区亀戸四丁目36番14号

【電話番号】 03(3636)0011(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長兼介護事業部担当
内部統制/コンプライアンス/IR所管 大海原 秀 人

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区亀戸四丁目36番14号

【電話番号】 03(3636)0011(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長兼介護事業部担当
内部統制/コンプライアンス/IR所管 大海原 秀 人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第57期 第1四半期 連結累計期間		第58期 第1四半期 連結累計期間		第57期	
	自 至	平成24年10月1日 平成24年12月31日	自 至	平成25年10月1日 平成25年12月31日	自 至	平成24年10月1日 平成25年9月30日
売上高 (千円)		922,369		625,047		4,243,012
経常利益又は経常損失() (千円)		2,955		29,994		203,401
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (千円)		8,154		31,117		113,900
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		7,234		32,739		117,147
純資産額 (千円)		2,866,734		3,003,929		2,991,116
総資産額 (千円)		4,962,015		4,748,111		4,728,542
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額() (円)		2.05		7.81		28.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		57.8		63.3		63.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第57期第1四半期連結累計期間、第57期及び第58期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社は平成25年11月25日に完全子会社であるフォービスリンク株式会社（電気工事業、非連結子会社）を設立いたしました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀の経済・金融政策等の推進により円安および株高の傾向が継続し、企業収益・個人消費の改善等により景気回復傾向にて推移いたしました。一方、4月以降の消費税増税や中国等の新興国の経済成長の鈍化に伴う輸出の伸び悩みの懸念等により、依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの売上高は6億2千5百万円（前年同期比32.2%減）、営業損失4千万円（前年同四半期は6百万円の損失）、経常損失は2千9百万円（前年同四半期は2百万円の利益）、四半期純利益は固定資産売却益を8千9百万円計上したこと、および法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を2千8百万円計上したことから、3千1百万円の四半期純利益（前年同四半期は8百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

当社グループの主力であります函物及び機械設備関連事業におきましては、19インチラック、アーム関連製品については拡販を進めることで堅調に売上を確保することができました。

しかしながら、前期に寄与した再生エネルギー関連製品の大口の案件を受注することが当四半期においてはできず、売上高確保にはいたりませんでした。再生エネルギー関連製品の大口案件については、第2四半期以降に寄与してくる事業計画となっております。その結果、売上高は4億6千3百万円（前年同期比37.9%減）となり減少しております。

利益面につきましては、継続して生産効率の向上や諸経費等のコスト削減に取り組んでまいりました。しかし、太陽光関連の設計・施工案件における売上高が減少したものの、原価率のよいラック製品およびアーム関連製品を拡販することにより、計画以上の売上総利益が確保できております。以上のことから、セグメント損失（経常損失）は1千8百万円（前年同四半期は2百万円の利益）となりました。

一方、介護関連事業におきましては、各介護事業者に対して法令遵守を徹底した経営が求められるとともに、介護福祉士等有資格者の人材確保が依然として困難な状況が続くなど、厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループの在宅介護サービスにおきましては、訪問看護および居宅介護支援の稼働率が上がってはいるものの、通所介護、訪問介護および訪問入浴のサービスにおいて利用者が減少したことにより、売上高は1億1千8百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

また、地域密着型介護サービスにおける認知症対応型共同生活介護につきましては、居室稼働率は変動が無く、小規模多機能型居宅介護においても利用者は微増ではあるものの、利用者単価の低下により、売上高を確保することができなかつたことから、売上高は4千3百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

以上の結果、介護関連事業（在宅介護サービス及び地域密着型介護サービス）における売上高は1億6千1百万円（前年同期比8.5%減）となりました。利益面に関しては、売上高の減少により売上総利益が確保できなかったこと、現サービスの充実および新規事業を見据えた人材の新規採用や設備投資を行った結果、セグメント損失（経常損失）は1千1百万円（前年同四半期は0百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産の合計は、47億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて1千9百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が1億3千4百万円、関係会社株式が5千万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1億6千6百万円減少したことによるものであります。関係会社株式の増加は、当社が平成25年11月25日に当社の完全子会社であるフォービスリンク株式会社（電気工事業、非連結子会社）を設立したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、17億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて6百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が2千万円、長期借入金が1千2百万円増加したことに対し、役員退職慰労引当金が2千5百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は、30億円となり、前連結会計年度末に比べて1千2百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益（純資産の増加）3千1百万円および剰余金の配当（純資産の減少）が1千9百万円あったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は3百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,020,000	4,020,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 1,000株であります。
計	4,020,000	4,020,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日 ～平成25年12月31日		4,020,000		395,950		230,000

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 34,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,978,000	3,978	
単元未満株式	普通株式 8,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	4,020,000		
総株主の議決権		3,978	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権3個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式692株が含まれております。

3 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本フォームサービス 株式会社	東京都江戸川区平井六丁 目3番16号	34,000		34,000	0.9
計		34,000		34,000	0.9

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人大手門会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	239,380	374,292
受取手形及び売掛金	¹ 663,003	¹ 496,031
商品及び製品	25,113	62,729
仕掛品	45,091	34,074
原材料	161,216	161,594
繰延税金資産	20,874	8,582
その他	37,490	29,812
貸倒引当金	250	250
流動資産合計	1,191,920	1,166,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	788,537	777,890
機械装置及び運搬具(純額)	177,506	202,255
土地	2,228,065	2,219,403
リース資産(純額)	197,558	187,244
その他(純額)	24,155	19,738
有形固定資産合計	3,415,823	3,406,533
無形固定資産	24,133	20,671
投資その他の資産		
投資有価証券	19,551	22,557
関係会社株式	-	50,000
繰延税金資産	7,389	2,455
その他	69,724	79,025
投資その他の資産合計	96,665	154,038
固定資産合計	3,536,621	3,581,243
資産合計	4,728,542	4,748,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,826	125,559
短期借入金	629,000	649,000
1年内返済予定の長期借入金	84,360	101,160
リース債務	53,789	62,140
未払法人税等	34,348	14,202
賞与引当金	30,300	13,050
役員賞与引当金	4,200	-
その他	186,300	209,687
流動負債合計	1,161,124	1,174,799
固定負債		
長期借入金	254,799	267,164
リース債務	167,601	144,329
役員退職慰労引当金	127,158	101,878
繰延税金負債	-	3,824
長期未払金	25,022	50,466
その他	1,720	1,720
固定負債合計	576,301	569,382
負債合計	1,737,426	1,744,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,950	395,950
資本剰余金	230,000	230,000
利益剰余金	2,378,390	2,389,581
自己株式	14,586	14,586
株主資本合計	2,989,754	3,000,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,361	2,984
その他の包括利益累計額合計	1,361	2,984
純資産合計	2,991,116	3,003,929
負債純資産合計	4,728,542	4,748,111

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	922,369	625,047
売上原価	726,179	458,330
売上総利益	196,190	166,716
販売費及び一般管理費	202,802	207,095
営業損失()	6,612	40,378
営業外収益		
受取利息	29	21
受取配当金	175	197
補助金収入	9,204	5,719
その他	6,436	9,720
営業外収益合計	15,845	15,658
営業外費用		
支払利息	4,854	3,801
支払手数料	626	630
手形売却損	512	805
その他	283	38
営業外費用合計	6,277	5,275
経常利益又は経常損失()	2,955	29,994
特別利益		
固定資産売却益	100	89,438
特別利益合計	100	89,438
特別損失		
固定資産除却損	81	-
特別損失合計	81	-
税金等調整前四半期純利益	2,973	59,443
法人税、住民税及び事業税	1,098	8,173
法人税等調整額	10,030	20,152
法人税等合計	11,128	28,326
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	8,154	31,117
四半期純利益又は四半期純損失()	8,154	31,117

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	8,154	31,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	920	1,622
その他の包括利益合計	920	1,622
四半期包括利益	7,234	32,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,234	32,739

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	千円	1,711千円

- 2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
	48,029千円	60,118千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	25,863千円	36,984千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月20日 定時株主総会	普通株式	19,926	5.00	平成24年9月30日	平成24年12月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月20日 定時株主総会	普通株式	19,926	5.00	平成25年9月30日	平成25年12月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	745,675	176,694	922,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	745,675	176,694	922,369
セグメント利益	2,889	66	2,955

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	463,328	161,718	625,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	463,328	161,718	625,047
セグメント損失()	18,732	11,262	29,994

(注) セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	2円5銭	7円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	8,154	31,117
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	8,154	31,117
普通株式の期中平均株式数(株)	3,985,308	3,985,308

(注) 当第1四半期連結累計期間及び前第1四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2月12日

日本フォームサービス株式会社
取締役会 御中

監査法人 大手門会計事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 武 川 博 一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 下 隆 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本フォームサービス株式会社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本フォームサービス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。